

相原連合

さあ、皆さんお口を開けて！

わかば自治会は、9月2日(土)に西橋本3丁目の日本リフト株のスペースをお借りして「お口の健康教室」を開催いたしました。

「お口の健康教室」は、(公社)相模原市歯科医師会が歯科医師と歯科衛生士を派遣し、「歯と口を元気にするお話し」や「お口のささやかなお手入れとお口の体操」をテーマに講演をいただきました。

講演いただいたのは田中雄一郎歯科医師および、阿久津歯科衛生士と伊藤歯科衛生士の計3名です。わかば自治会では、自治会員との交流、および自治会員の健康増進を目的として本教室を開催いたしました。

自治会員の高齢化に伴い、本教



わかりやすい説明をしていただきました

室を通じて少しでも参加者の皆様のお口の健康についての関心が高まればという思いで開催しました。参加者は13名で、下は6歳、上が80代まで幅広い年齢層でのご参加をいただきました。



小学生も熱心に聞いていました

講師の皆様は、プロフェッショナルで、かつ大変わかりやすい話し方でした。参加者の皆様はオーラルフレイル(口まわりの些細な衰え)を初めて知り、そして再確認し、そのような状況を放置しておくのと口の機能が低下し、食べられるものが減ってしまい、最終的に心身機能の低下にもつながる可能性のあることを理解いたしました。共催した西橋本3丁目ゆめクラブわかば(老人クラブ)の吉岡会長は、今後もこのような活動を通して自治会員や近隣住民との繋がりを守ってゆきたいと語りました。

(わかば自治会長 中村 拡司)

橋本連合

若い世代との融合を図る

末広町自治会では、地域の交流や連帯感を高めるため、様々な活動を行っております。

- 防犯パトロール
- 子どもの登下校の見守り
- 防犯カメラの設置
- 環境美化活動
- 防災訓練の実施
- 広報物(回覧版)の回覧
- お祭りなどの行事の開催
- 趣味のサークル活動

夏になると聞こえる太鼓の準備や、祭りでの浴衣姿の友達との出合いが、いつかこの地域で育った子ども達の財産(思い出)となることを願い、自治会員が協力してお祭りや行事を盛り上げております。

また、趣味のサークル活動や自治会の集い等の人付き合いは、地域の「知らない人」を「知り合い」に変える機会として活動しております。これらの活動は、自治会員がボランティアで活動しているため、コストを掛けずに運用しております。しかし、自治会費の支払いや区長の当番、広報物(回覧版)の回覧など、自治会の加入にデメリット

を感じる方が多く、年々自治会員が減少する傾向にあります。

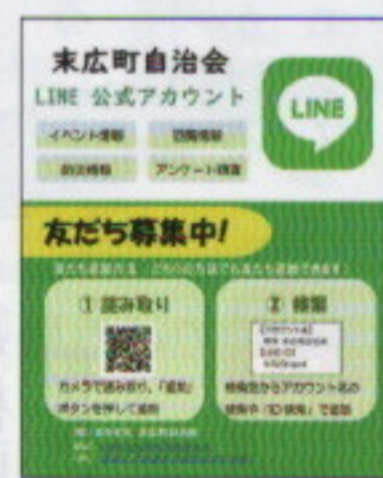
末広町自治会でも、昔から自治会活動に参加頂いている方が中心で組織が高齢化し、一部の方々に負担が集中している状況です。

そのような状況を改善するため、自治会活動をより多くの方、特に若い世代の方に広報していく活動として、ホームページとLINEを活用した取り組みを実施しております。すぐとはいかないですが、いずれ広報物(回覧版)も電子化して

LINEやホームページでの回覧など自治会員の負担(デメリット)を減らしていければと思っております。また、末広町自治会の3役も世代交代を行い30代、40代を採用しました。若い世代に向けた広報活動だけではなく、中心メンバーしか知らない自治会活動のノウハウの共有(電子化)を実施しております。

今後も末広町自治会では若い世代の意見や活動に積極的に耳を傾け、年配と若手が融合した組織を目指していきます。

(橋本末広町自治会長 松田 豊)



末広町自治会LINE



末広町自治会ホームページ

橋本地区 自治会長研修会報告

コロナ禍にて3年間中断した橋本地区（相原、橋本、宮上の各連合）自治会長研修会は来賓4名様を含む計21名参加にて、11月12日より一泊二泊で昨年全国2位を獲得の福島県母畑（ぼばた）温泉・八幡屋（やはたや）を宿泊地として実施されました。旅行会社は4年前と同じ（株）新中央ツーリスト相模原にお預りし、45人乗りの大型バスは着席率が半分以下のため完全自由席のゆとりでした。本研修会に先立ち、30の橋本地区連の全自治会長を対象に「単位自治会外形状況調査」を実施し、その集計結果（回答率80%）を往路車中で配布して内容説明しました。橋本地区連では外形状況調査は初めての試みですが、往路車中にて各自治会の客観的



白河小峰城址前

な基礎的情報を共有することで、以降の研修会における理解、相談、議論等の効率と質が向上し、連合の枠を超えた会長間の親睦にも有効だったとの意見を多数頂きました。往路は交通渋滞は無く、白河小峰城（戊辰戦争で殆どの建物が焼失し、1991年に三重櫓を木造復元）、南湖公園を視察の後、早めの15時過ぎに宿泊地に到着し、湯量豊富で濃厚なアルカリ泉でゆつたりと日頃の疲れを癒し、18時より宴会場にて充実の食事です。食事中にのど自慢会長のカラオケが盛り上がる様からコロナ禍の終息を感じ、食事終了後は部屋に戻ってからも、情報交換や議論は続き充実した研修会の夜は更けていきました。

今回の研修会の会長参加率は55%で今後の継続のための対策が求められるのですが、帰路のバス内で実施した参加者のアンケート結果から、研修内容の充実や研修会運営の在り方への率直で前向きな意見を多数頂きました。末筆ながら今回の研修会にご支援ご協力を頂きました緑区役所地域振興課橋本まちづくりセンターの皆様にご礼申し上げます。

（東橋本第一自治会長

藤田 勝也）

リニア中央新幹線神奈川駅（仮称） 見学会に参加して

11月11日（土）リニア中央新幹線の神奈川駅（仮称）工事現場の見学会に参加しました。

まず最初にJR東海の方から工事の概要をお聞きし、その後現場見学となりました。駅部分については旧相原高校跡地を地下約30mまで掘り下げる開削工法で工事を行い、駅の前後の部分はトンネルとなり、起点の品川から相模川まで地下を走り続けるそうです。



駅工事の様子

とほ叶いませんでしたが、日本の土木技術の凄さを目の当たりにしました。

説明の中で興味深かったのは、橋本の地下は地上から約15mまでは関東ローム層という火山灰土の地質で、その下は砂礫層でかつて河床であった名残と思われるとのことでした。

どちらも大変安定した地質だそうで、相模原が地震に強い土地という事が頷けました。

続いて現場見学に移り、掘削した土を積み上げて作られた展望台（さがみはらリニアひろば）から全体を俯瞰し、その後、駅ホーム部分の真上となる工事用栈橋上か

ら下を覗き込みました。上から俯瞰した工事現場は農業高校でもあった相原高校の跡地だけあって広大で、掘った土を敷地内に積上げることができ、また埋戻しに使えることで、土砂ダンプの往来も減り、周辺住民の環境影響が最小にできるとのことでした。真上から覗き込んだホーム部分も広大で圧倒されました。広いせいかもしれませんが、重さを感じなかったのですが、重機がミニカーのように小さく見え、かなりの深さであることがわかります。残念ながら下に降りてみることは叶いませんでしたが、日本の土木技術の凄さを目の当たりにしました。

開業時期は不明ですが、完成すれば品川から名古屋まで最速40分、大阪まで最速67分で結ばれるそうです。また、品川から神奈川駅までは約10分で結ばれるそうです。今後はリニア駅を起点にした駅前再開発が行われますが、将来の子供達にも自慢できる明るく住みよい街づくりをお願いし、益々の橋本地区の発展を祈念したいと思います。

（橋本末広町自治会副会長 田中智）